

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【公開番号】特開2017-140953(P2017-140953A)

【公開日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2017-031

【出願番号】特願2016-24168(P2016-24168)

【国際特許分類】

B 60 R 21/206 (2011.01)

【F I】

B 60 R 21/206

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月13日(2018.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

袋状であって折畳みまたは巻回された収納形態のエアバッグクッションと、
車両に設置され前記エアバッグクッションを支えるハウジングと、
前記エアバッグクッションに被さるカバーと、
を備えるエアバッグ装置であって、
前記カバーは、
前記エアバッグクッションを覆う天面部と、
前記天面部に設けられる複数の側壁部と、
前記複数の側壁部の1つの側壁部に設けられ前記ハウジングに接続される接続部と、
開裂することで前記天面部を前記1つの側壁部側を付け根とする開き戸状に開かせる開
裂部と、
前記1つの側壁部のうち前記接続部から前記天面部までの領域に該天面部に沿って設け
られ、該1つの側壁部の他の領域よりも柔軟になっている柔軟部と、
を有することを特徴とするエアバッグ装置。

【請求項2】

前記柔軟部は、前記他の領域よりも肉厚が薄くなっていることを特徴とする請求項1に
記載のエアバッグ装置。

【請求項3】

前記柔軟部は、断面V字の溝状に設けられていることを特徴とする請求項2に記載のエ
アバッグ装置。

【請求項4】

前記柔軟部は、断面U字の溝状に設けられていることを特徴とする請求項2に記載のエ
アバッグ装置。

【請求項5】

前記天面部は矩形であって前記開裂部は該天面部の3辺に沿って設けられていて、
前記1つの側壁部は、前記矩形の天面部の前記3辺以外の1辺に沿った側壁部であるこ
とを特徴とする請求項1から4のいずれか1項に記載のエアバッグ装置。

【請求項6】

前記接続部は複数の貫通孔であって、

前記ハウジングは、前記貫通孔にそれぞれ接続される複数のフックを有することを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載のエアバッグ装置。

【請求項 7】

前記カバーは、ニーエアバッグ用として前記エアバッグクッションに車両下方側から被さり、

前記 1 つの側壁部は、車両前方側の側壁部であることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載のエアバッグ装置。